奈良県立奈良北高等学校　中期計画

【高等学校用】

対象期間		令和４年４月～令和７年３月
本校の使命（スクール・ミッション）		科学技術の振興や社会の発展に貢献する人材の育成、グローバル人材の育成
教育方針（スクール・ポリシー）	入学者の受け入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）	本校は、生徒一人一人の個性や創造性を伸ばす個に応じた教育を大切にしつつ、様々な課題に直面する変化の大きい社会の中で、豊かな社会の形成者として、心豊かな資質を伸ばし、科学技術の振興や社会の発展、国際社会に貢献できる人材の育成を目指しています。その実現のため柔軟な判断力と枠にとらわれない発想力で学びを深め、高い志をもち本校でその実現に向けて努力する生徒を求めます。 １　本校の使命や教育方針を理解する生徒 ２　自らを大切にするとともに他者への思いやりの心をもち、国際社会や地域社会の発展に貢献しようとする生徒 ３　基礎的な学力がついており、目標を掲げて学習に取り組む生徒 ４　自ら考え行動できる生徒 ５　探究的な学習に意欲的に取り組み、自ら課題を発見しようとする好奇心旺盛な生徒 ６　数学や理科・科学技術に関心と興味をもち、将来科学技術の振興に貢献したい生徒（数理情報科）
	教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）	本校では、豊かな人間性・自ら学ぶ意欲と態度・自律した生活態度・進路実現のための高い志の育成と、変化する社会に対応しうる能力・意欲・創造性を養うことを教育方針とし、その実現のために以下の教育を行います。 １　社会の変化に対応できる人材を育成するため、既存の科目にとらわれない学校設定科目を開設し、課題を発見し、その解決に向け粘り強く取り組む態度を育成します。 ２　探究的な学びを重視し、「論理的な思考力」「総合的な判断力・表現力」「新しい価値を創造する力」を育みます。 ３　STEAM教育の視点に立った教科横断的な学習を意識し、未来指向の教育活動を展開します。 ４　規律ある学校生活を通して、自律する力や規範意識を高め、未来の社会を担うための高い倫理観を育みます。 ５　コミュニケーション力やリーダーシップ、健やかな心と体を育成し、他者と協働する力を醸成します。 ６　国際教育に積極的に取り組み、世界を視野に入れたグローバル人材育成を意識した教育プログラムを提供します。 ７　学校行事や課外活動、高大連携講座、ボランティア活動などを通して、視野を拡げ、主体性と協働する意識を高め、社会に貢献する精神を涵養します。
	育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）	１　自然や人間を大切にする豊かな人間性を培い、自他の価値を認め合い、他者と協働しながら自分を成長させることができる。 ２　国際化・情報化の進む社会の中で、広い視野をもち、既存の価値観にとらわれず、自らの考えを論理的に表現し、行動することができる。 ３　個性を生かし、学びをよりよい社会の創造につなげ、社会の一員として貢献することができる。 ４　健やかな心と自主自律の精神をはぐくみ、何事にも粘り強く取り組むことができる。

奈良県教育振興基本計画（「奈良の学び推進プラン」）が示す各テーマごとの学校教育目標　　※令和５年度修正版

テーマ	学校の教育活動に関する目標	令和６年度末目標値等
１．こころと身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ	基礎体力についての意識の向上	運動習慣の定着及び、体力は必要だと思う生徒の割合90%以上の維持 体力テストの結果の活用推進
	危機管理に対する意識の向上	危機管理について、自らを守るための意識や理解ができていると回答する生徒の割合の増加（R3年度67%）
	望ましい生活習慣の確立	学校の指導は基本的な生活習慣を身につけるように行われていると回答する生徒の割合80%以上の維持
２．学ぶ力、考える力、探究する力をはぐくむ	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善	わからないことを自分で調べたり、諦めずに考えたりしようとしていると回答する生徒の割合50%以上を目指す
	知識を活用して解決する力の向上	ジェネリックスキルテストにおけるリテラシー（知識を活用して問題を解決する力）Level４以上の割合について入学時から３年時の増加率13%以上を目指す
	オンライン教育の推進	教育活動全般に対してICTの活用を推進 ICT活用に関する教員研修の充実
３．働く意欲と働く力をはぐくむ	インターンシップの充実	アカデミック・インターンシップを含めたインターンシップの実施率25%以上を目指す
	キャリア教育の推進	進路について具体的に学んだり、深く考えたりする機会があると回答する生徒の割合80%以上を目指す キャリア意識醸成のための特別講座を開催する
	対人関係能力の向上	ジェネリックスキルテストにおけるコンピテンシー（人と自分によりよい状態をもたらそうとする力）Level３以上の割合について入学時から３年時の増加を目指す
４．地域と協働して活躍する人を育てる	コミュニティ・スクールの運営	学校運営協議会の年度３回の開催
	ボランティア活動への参加促進	地域ボランティアへの参加者数のべ200名以上の維持
	自らの在り方について学ぶ機会の充実	生き方や在り方について学んだり、考える機会があると回答する生徒の割合85%以上を目指す
５．地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	一人ひとりを大切にする人権教育・特別支援教育の推進	人権について学んだり、考えたりする機会が適切に設けられていると回答する生徒の割合90%以上の維持 個別の支援計画及び個別の指導計画の活用を推進
	いじめの絶無を目指した学校いじめ防止方針に基づく取組の推進	いじめや暴力をなくす指導が適切に行われていると回答する生徒の割合90%以上を目指す
	教育相談の充実	「悩みを相談しやすい場所がある」「先生に相談しやすい雰囲気がある」と回答する生徒の割合80%以上を目指す 教員がゆとりをもって生徒と向き合えるよう、働き方改革を推進